

あなたも傍聴してみませんか

市議会では、市民の皆さまの生活に密着した重要な問題が審議されています。

市役所の傍聴席入り口の受付で住所・氏名・年齢を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。



編集後記

平成22年が明けました。今年はどういう年になるのか。誰もが予測のむずかしい混沌とした年になりそうだと感じてみえるのでしょうか。

いや、そんな時だからこそ、地場産業が衰退しているからと後ろ向きの姿勢から、国も地方も厳しい経済や財政の状況にはありますが、お金が乏しいことよりも、心が貧しくならないよう前向きに物事を考え、取り組みたいものです。

さて、12月議会では、国の事業仕分けに習い、土岐市でも市の事務事業を見直し、あるいは、土岐市版事業仕分けをすべきではないかとの質問が相次ぎました。

22年度予算を審議する3月議会を前に、土岐市を元気にするためには、自分たちの地域を自分たち自らがどうしたいのか、構想力が必要だと思います。

市民の皆様は勿論、議員も、市職員も、みな情報共有し、常にプラス志向で思いを巡らせていくことが大切であると思います。

どうぞ皆様のお声をお聞かせください。

(文責 布施素子)

編集委員

座長	小栗 恒雄	
副座長	杉浦 司美	
委員	布施 素子	高井由美子
	長江 光則	松浦 勝男

行財政改革特別委員会報告

12月本会議の一般質問に対する答弁で、「新年度予算編成作業途中だが歳入不足を10億円程度と予測している。」「事業仕分け方式の採用は、議会制民主主義等の観点から現時点では考えていない。」との発言を受け、この2点について、12月21日と本年1月14日の2日間、協議を行いました。

事業仕分け方式の採用については、20年度に423事業の事務事業評価を実施しているが、行政担当者だけで評価しており、どの程度審査したのか不明確である。また、評価の集計結果は単純集計したに過ぎず、※D及び※Eという評価が多くあるにもかかわらず、最終結果は、「廃止1件」「見直し1件」であったこと等疑問の意見が多数出されました。議論の結果、新年度予算編成には間に合わないが、21年度事務事業評価は、行政担当者以外の人を加えた評価（事業仕分け）の方式に変更するよう市長に提言書を提出する方向でまとまりました。

財源確保については、不確定要素が多すぎることから引き続き協議することとなりました。

(※ 事業の評価 D=低い・E=非常に低い)

3月定例会の日程

※ 請願書の受付締切は2月16日です。		〔会期 2月25日～3月26日〕	
26日	本会議 (最終日)	3月8日	本会議 (議案提案説明)
15・16・17日	第1常任委員会	2月25日	本会議 (議案提案説明)
11・12日	第2常任委員会	3月8日	本会議 (質疑・委員会付託・一般質問)
10日	本会議 (一般質問)	9日	本会議 (一般質問)
15・16・17日	第1常任委員会	11・12日	第2常任委員会
26日	本会議 (最終日)	2月25日	本会議 (議案提案説明)